

過去の災害を振り返り、教訓を次世代につなげる！！

～豊岡河川国道事務所～

豊岡市では平成16年水害を教訓に、防災学習会を始めとして、防災教育教材による授業や住民ワークショップが継続的に開催され、防災意識の向上を目指しております。

今年度の防災学習会では、その機運をさらに高めるために住民自らの活動報告の場と位置づけて、防災の取り組み内容を伝え、知ることで地域の防災・減災を考える機会としました。

概要

日時：令和4年10月22日（土）16:00～18:00
場所：アイティ7階 豊岡市民プラザ
参加者：会場64名
YouTube視聴回数337回（10月25日現在）
共催：豊岡市、但馬県民局、豊岡河川国道事務所

司会



フリーアナウンサー
佐伯 和亜 氏

開会挨拶



豊岡市
関貫 久仁郎 市長

閉会挨拶



豊岡河川国道事務所
南 知之 事務所長

内容

【防災取り組み事例の発表】

- ①豊岡市高校生ボランティアつながり隊
豊岡総合高等学校、大岡学園高等専修学校
- ②コミュニティなかすじ タカ目・助け合い部
- ③兵庫県防災士会 但馬エリア 豊岡ブロック

【講評】 東京大学大学院 情報学環 特任教授 片田 敏孝 先生



防災の取り組み事例の発表

①豊岡市高校生ボランティアつながり隊

豊岡総合高等学校インターアクトクラブ、大岡学園高等専修学校の学生による、東北支援交流活動の発表



②コミュニティなかすじ タカ目・助け合い部

平成16年台風23号や平成30年7月豪雨を契機とした避難所運営マニュアルの作成等の発表



③兵庫県防災士会 但馬エリア 豊岡ブロック

平成24年に設立した防災士会による、10年間の活動実績として防災活動等の発表



片田先生による講評

近年、インフラ整備や技術力向上によって災害の克服を目指す考えがあるように感じる。しかし、想像を超える規模の災害は必ず発生するものであり、自分の命は自分で、地域の命は地域で守る必要がある。今の社会に求められていることは災害と向き合い、自然と共存することである。



東京大学大学院 情報学環
特任教授 片田 敏孝 先生

参加者の感想

- ・行政以外の防災活動を知ることができ、良かったです。
- ・地域の自助、共助に繋がれば幸いです。
- ・防災学習会が継続して毎年開催されていることに敬意を表します。防災に対する意識向上が感じられます。

YouTubeでライブ配信及び見逃し配信を実施

今年度は初めての試みとして1ヶ月間の見逃し配信を実施しています。
URLより、ぜひご覧ください。 <https://toyooka.bousaiseminar.jp/>

